

## 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和2年度分）

＜県の評価等＞

施設所管部名： 県土整備部

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	県営都市公園 熊野灘臨海公園（北牟婁郡紀北町地内）
指定管理者の名称等	紀伊長島レクリエーション都市開発株式会社 代表取締役 吉川勝也 （北牟婁郡紀北町東長島3043番地の4）
指定の期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園の維持修繕及び巡視点検に関する業務</li> <li>・ 公園の利用者への案内に関する業務</li> <li>・ 条例に基づく公園の利用時間の変更、公園内の行為の制限、利用の禁止又は制限</li> <li>・ 公園の利用の促進</li> <li>・ その他の業務</li> </ul>

### 2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R1	R2	R1	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B			利用者の安全に配慮し、植物管理や公園施設の管理を適切に行っている。
2 施設の利用状況	B	C		+	感染防止対策を徹底しながら複数の小規模イベントを開催するとともに、SNS（Facebook）を活用した広報活動、紀北町観光協会と連携したPR活動を実施し、集客に努めた。
3 成果目標及びその実績	A	C		+	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果目標に達していないものの、管理業務や施設利用を適切に実施し、利用の促進に努めた。

※「評価の項目」の 県の評価 : 「+」（プラス） → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。  
「-」（マイナス） → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。  
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>（指定管理者の評価に対する県の評価）</p> <p>指定管理者においては、「管理業務の実施状況」はB評価とし、「施設の利用状況」及び「成果目標及びその実績」はC評価としている。</p> <p>「管理業務の実施状況」については、業務仕様書に基づき植物管理や施設管理を適切に行っており、指定管理者の自己評価と同じ評価とした。</p> <p>「施設の利用状況」については、新型コロナウイルス感染症の影響による大型イベントの中止など、集客が困難な状況の中、感染防止対策を徹底しながら複数の小規模イベントを開催するとともに、SNS（Facebook）を活用した広報活動、紀北町観光協会と連携したPR活動を実施し、集客に努めたことから、指定管理者の自己評価に比べて高いB相当と評価した。</p> <p>「成果目標及びその実績」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、成果目標に達していないものの、管理業務や施設利用を適切に実施し、利用の促進に努めたことから、指定管理者の自己評価に比べて高いB相当と評価した。</p> <p>（今後の課題又は指定管理者への期待）</p> <p>利用者の安全・安心を確保するため、施設の老朽化に対する適切な修繕及び維持管理を期待する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の確保が困難な状況ではあるが、感染症拡大防止のための対策を実施しつつ、利用者拡大に向けた取組を期待する。</p> <p>ワーケーションの推進に寄与する取組や近隣観光施設及び行政と連携した当公園の魅力を発信する取組を期待する。</p>
--------	---

## <指定管理者の評価・報告書（令和2年度分）>

指定管理者の名称： 紀伊長島レクリエーション都市開発株式会社

### 1 管理業務の実施状況及び利用状況

#### (1) 管理業務の実施状況

##### ① 熊野灘臨海公園事業の実施に関する業務

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した上で、以下のとおりイベントを実施した。

4月～10月 まるごと海体験（参加者 227人）

夏休み期間 縁日（参加者 400人）

夏休み期間 ビンゴ大会（参加者 400人）

12月26日～1月14日

門松（孫太郎オートキャンプ場と道の駅「紀伊長島マンボウ」に設置）

12月31日 年越しそばふるまい（利用者 300人）

12月～3月 カンカン焼きたらふくランチ（参加者 21人）

2月 ソロキャンプ&星空観察会無料プラン（参加者 21人）

通年 プリン&アイスクリーム作り体験（参加者 15人）

通年 思い出グラス作り体験（参加者 51人）

通年 お皿にお絵かき体験（参加者 18人）

通年 シーカヤック体験（参加者 11人）

通年 SNS（Facebook）を活用した広報活動

##### ② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

植物管理、清掃管理、保守点検及び巡回警備等については、例年どおり直営又は委託により滞りなく実施した。

蛇口等水道関係の小修繕（パッキン、ウォシュレットノズル等）、大白テニスコートの防風ネット、木橋の修繕、タイマー・電灯等電気関係部品の交換等を実施した。

その他、危険を及ぼす可能性のある樹枝の伐採や、避難路の確認、遊具点検強化、施設の劣化確認、害虫等の防除、禁止事項の注意喚起等、安全管理を最優先に実施した。

##### ③ 県施策への配慮に関する業務

管理業務を実施するにあたっては、以下のとおり県施策への配慮を行った。

- ・「人権尊重社会の実現」として、高齢者や障がい者等の雇用に積極的に取り組んだ。
- ・「男女共同参画社会の実現」として、作業員の採用にあたって、能力に応じて区別することなく、雇用機会を創出した。
- ・「次世代育成支援の推進」として、子供たちの情操の育成につながる体験教室を多数開催した。
- ・「地震防災対策」として、公園内3施設（片上管理センター（道の駅）、孫太郎オートキャンプ場、城ノ浜フィットネスホール）において、消防訓練と津波避難誘導訓練を実施した。

##### ④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

熊野灘臨海公園の管理に関する情報公開実施要領に基づき実施した。

令和2年度の開示請求はなかった。

##### ⑤ その他の業務

- ・巡視員会議を年間6回実施し、公園の維持管理に係る情報共有を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う施策の遂行  
ポスター掲示、ホームページ掲載、遊具使用禁止（一時的）、管理従事者健康チェック  
利用者へマスク着用の呼びかけ、従事者のマスク着用の徹底

## (2) 施設の利用状況

### <目標>

年間公園利用者数：58万人

### <実績>

年間公園利用者数：550,131人（前年度：662,896人 対比：83.0%）

#### （内訳）

城ノ浜地区 38,747人（前年度：57,805人 対比：67.0%）

片上池地区 468,448人（前年度：537,956人 対比：87.1%）

豊浦地区 14,529人（前年度：19,904人 対比：73.0%）

大白地区 28,407人（前年度：47,231人 対比：60.1%）

### <行為許可>

他団体による公園利用は、紀北町のPR事業の2件であった。

## 2 利用料金の収入の実績

## 3 管理業務に関する経費の収支状況

（単位：円）

	収入の部		支出の部		
	R1	R2		R1	R2
指定管理料	58,687,000	58,687,000	事業費	35,790,023	35,985,952
利用料金収入	0	0	管理費	27,855,082	25,626,187
その他の収入	4,169,825	6,649,397	その他の支出	0	0
合計(a)	62,856,825	65,336,397	合計(b)	63,645,105	61,612,139
収支差額 (a)-(b)	△788,280	3,724,258			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

### ※参考

利用料金減免額	-
---------	---

## 4 成果目標とその実績

成果目標	年間公園利用者数 58万人
成果目標に対する実績	年間公園利用者数 550,131人
今後の取組方針	<p>三重県南部に位置する熊野灘臨海公園は、熊野古道やロケーション、美味しい魚や釣り等の魅力のPR等をし、集客交流に努め、地域活性化を図ることが使命と考える。</p> <p>城ノ浜地区においては、孫太郎オートキャンプ場でのイベント開催や、体験メニューの充実に取り組んでいく。</p> <p>片上池地区においては、紀勢自動車道の延伸及び紀北パーキングエリア（始神テラス）の開業の影響により、平成26年度以前に比べ利用者が大幅に減少しているため、片上池地区周辺の魅力作りと、他団体との広域連携等を充実させることを目的として設立したマンボウ倶楽部とも連携を密にし、利用者の拡大を図っていく。</p> <p>また、安全管理においては、日常巡回による安全確認の徹底を継続していくとともに、施設の経年劣化などにより生じる危険個所や不具合等にも確実に対応していく。</p>

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R1	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B	植物管理、清掃管理、保守点検及び巡回警備等、すべて滞りなく実施した。
2 施設の利用状況	B	C	利用促進に向けて自主イベントの充実や地域団体との連携によるイベント開催等に取り組むこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年開催している集客イベントのまんぼうまつり等を実施することができなかった。
3 成果目標及びその実績	A	C	年間公園利用者数は、成果目標58万人に対し、550,131人となり、達成率は94.9%にとどまった。

※評価の項目「1」の評価 : 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。  
「B」 → 業務計画を順調に実施している。  
「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。  
「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価 : 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。  
「B」 → 当初の目標を達成している。  
「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。  
「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	<p>●上記の評価に至った根拠・理由  維持管理については、適切に植物管理及び施設管理を実施した。  施設の利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により、繁忙期のGW期間の施設閉鎖や、例年実施している集客イベント等が中止となったことから、利用者数が、前年度及び成果目標を下回る事となった。</p> <p>●残されている課題  平成25年度の紀勢自動車道の延伸、平成27年度の紀北パーキングエリア（始神テラス）の開業により、平成27年度において、道の駅「紀伊長島マンボウ」の利用者数が大幅に減少した。  平成26年度以前の利用者数より少ない状況ではあったが、平成28年度から令和元年度までは回復傾向にあった。しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響を受け、利用者数が大幅に減少した。  このため、感染症拡大防止対策を行いつつ、より一層の利用者確保に向けたPR活動が必要となる。  また、施設の老朽化も顕著であることから、引き続き適切な維持管理を行う。</p> <p>●その他  紀北町の観光政策や地域の関係機関との連携を深め、積極的な広報活動を行い、片上池地区へ県外利用者など新規利用者を開拓していく。  また、城ノ浜地区及び大白地区の施設においても、イベントや体験メニュー等を開催していくことで集客を図る。  新設のバイク駐輪場（片上池地区）は、バイク来場者に評判が良く、コロナ禍の中であってもバイク来場者は多い。ライダーを含め現在の公園利用者の顧客満足度を高めるとともに、多方面への情報発信を積極的に行っていく。</p>
--------	---